

新型インフルエンザとその対応についてのお願い

ご存知のとおり、新型インフルエンザが日本に上陸し、厚生労働省による国内発生状況は第2段階（国内発生早期、9月現在）と発表されております。同時に政府からは、会議場等、不特定多数の方が集まる場所を有する施設において、適切な対応をするよう指示されております。

国連大学では、新型インフルエンザの伝染拡大を防ぐために、以下の対策と共に、会議場利用の関係者・参加者様へは、特別なご協力をお願いをすることといたしました。

国連大学での会議等のイベントを有意義なものとし、会場からの新型インフルエンザ感染者の拡大を防ぐために、何卒ご理解のほどよろしく願いいたします。

1) **消毒液の設置について：** 消毒液は以下の箇所に設置されております

- 1階、エントランスホールのドア付近、およびレセプション（受付）デスク
- 各エレベーターホール
- 2階、レセプションホール付近
- 会議室の入口（ウタント、エリザベスローズホール他）
- トイレ（3階、5階）
- その他

2) **イベントの延期・中止について：** 主催者やイベントスタッフ、および参加者に新型インフルエンザに感染した方がいらした場合、イベントを延期または中止するようお願いする場合がございます。（その場合の費用、延期の際の会場確保については、別途ご相談させていただきます。）

3) **マスク着用について：** イベントスタッフ、および参加者のマスク着用は積極的に行うようにしてください。特に咳などが出ている方には、必ずマスクを使用するようご指導ください。非感染者の方にもマスクは空気中のウイルスから身を守るためにとっても有効です。

4) **『咳などによるマナー』の遵守について：**

感染者の咳やくしゃみによる空気感染を防ぐために、参加者の方へは以下のことをご指導ください。

- * 咳やくしゃみをする時は、鼻や口をティッシュで押さえ、できるだけ顔を他者から話し、1 mから2 mほど距離を取ること
- * ティッシュを持っていない場合、鼻水などが空中に放出するのを避ける為、袖で口などを押さえること。
- * 鼻水や痰などを拭いたティッシュはゴミ箱に直ちに捨てること。
- * 咳やくしゃみを押さえた腕や手はすぐに洗うこと。手を洗う前には他者や身の回りの物に接触しないこと。
- * すぐに手洗いができない場合のために、アルコール等の速乾性の消毒液かアルコールベースのウェットティッシュ等を常時携帯しておく事を奨励する。